

令和7年4月13日

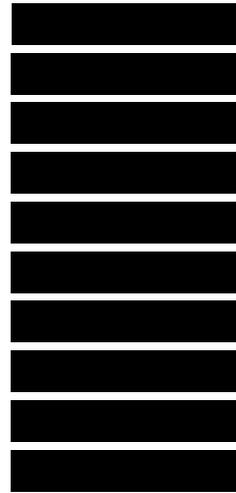
横浜市建築局

局長 樹岡 龍太郎 殿

**(仮) ガーラ・レジデンス洋光台の開発事業計画の取扱等
に関する宅地審査部長及び課長の対応（公開質問状、再
質問書及び再々質問書への回答など）についての申立書**

(仮称)ガーラ・レジデンス洋光台計画

近接住民代表



前略 前任者の鶴沢局長に年度末(3/17日付け)に、本件に係る書簡を差し上げました。新局長との引継ぎ懸案事項になっていると存じます。

貴局の宅地審査課の高橋課長は、それまでの言動と異なった結論を出し、結果、市民に寄り添わず、ひいては、納税者でもある市民を裏切り、切り捨てる行動を取りました。

なお、3/28の高橋課長らとの面談の際に、高橋課長から榊原部長にすべて相談済みであるとの回答があり、上司である榊原部長宛てに公開質問状、再質問書及び再々質問書を出しましたが、3回とも、当事者の高橋課長からの回答(言い訳)に終始したもので、まったく意味のないものでした。然も、高橋課長の回答書は、とても粗雑な回答で、記載内容は住民には、何も伝わらず、また、理解が出来ないものでした。

本件は、住民の率直な質問に対し、高橋課長が結論を先延ばし、曖昧にし、嘘を付き、最後の最後になって(本年2月以降の対応)、余りにも開発事業者寄りの判断を重ねるため、「青空を渡さない会」のホームページにおいて、一連の書簡を開示しています。

是非とも、樹岡局長自ら当会運営のホームページをご熟読ください。そこには、横浜市建築局の市民に対する対応への禍根が残り、横浜市の職員が市民に寄り添わない姿が鮮明に浮かび上がっている事案です。即ち、信用回復のため貴殿の指揮が重要となります。本書簡は、個人情報を保護したうえで、ホームページ上に開示致します。